

はじめにお読みください

この説明書では、ロータリーエンコーダのセットアップと基本的な使い方を説明しています。

■安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくために、製品をお使いになる前には、必ず本書および製品に添付されているその他の取扱説明書をお読みください。

- 本書および製品添付のその他の取扱説明書は、製品の不明点をいつでも解決できるように、手元に置いてお使いください。
- 本書および製品添付のその他の取扱説明書では、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作・お取り扱いについて、次の記号で警告表示を行っています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

警告

以下に記載された内容を見逃して誤った使い方をすると、人体に多大な損傷を負う可能性があります。

本製品を分解、改造しないで下さい。

火災、感電、破裂、やけど、故障の原因となります。分解、改造を行った場合、保証期間内であっても保証の対象外となります。



煙が出たり、変な臭いがしたら、すぐに使用を中止して下さい。

ケーブルを抜いて、電源を切って下さい。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



本製品の取扱いは、必ず接続方法をご確認になり、以下の点に注意して下さい。



- 接続ケーブル等の部品は、添付品または指定品を使用して下さい。指定品以外を使用すると火災や故障の原因となります。
- ケーブルに物をのせたり、引っ張り、押しつけ、折り曲げ等をしないで下さい。火災や故障の原因となります。
- 接続するコネクタやケーブルを間違えると、火災や故障の原因となります。

やけどの恐れがあります。

基板上で短絡が発生した場合、高温になる部品があります。



誤って短絡させてしまった場合、すぐに短絡を取り除き、しばらく基板上の部品には手を触れないようにして下さい。

本製品をぬらしたり、水気の多い場所で使用しないで下さい。

火災、感電の原因となります。お風呂場、雨天、水辺でのご使用時には特にご注意下さい。



ぬれた手で本製品を取り扱わないで下さい。

短絡が発生し、感電や、本製品の故障の原因となります。



故障した状態のまま、使用しないで下さい。

本製品に故障や異常がある場合は、接続している機器から取り外して下さい。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。



鋭利な部分があります。

触れると指や手を損傷する恐れがあります。鋭利な部分に指や手を触れないようにして下さい。



注意

以下に記載された内容を見逃して誤った使い方をすると、人が損傷を負う可能性、または物的損害が発生する可能性があります。

本製品を以下のような場所で使用、または保管しないで下さい。

故障する可能性があります。
• 振動や衝撃が加わる箇所



- 水気の多い場所
- 発熱する物の近く
- 腐食性ガスが発生する箇所
- 強い電磁波が発生する物の近く

本製品は精密機器となりますので、以下に注意してご使用下さい。



- 落としたり衝撃を加えたりしないで下さい。
- 上に物をのせないで下さい。
- 金属性の物を上にのせないで下さい。

本製品は日本国内仕様です。

本製品は、日本国内での使用を前提に製造されております。

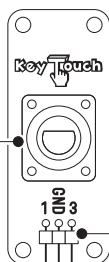


日本国外での使用はお客様の責任において行って下さい。

各部の名称と働き

ロータリーエンコーダ

ここを回すとキータッチに信号が伝わります



接続ピン

ジャンパーワイヤをここに接続します

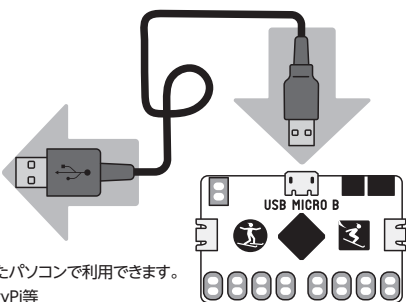
セットアップと基本的な使い方

1 パソコンとキータッチをUSBケーブルで接続します

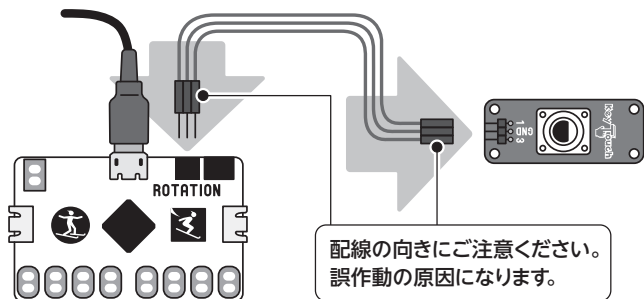


USB接続形式のキーボードに対応したパソコンで利用できます。

※Windows、MacOS、RaspberryPi等



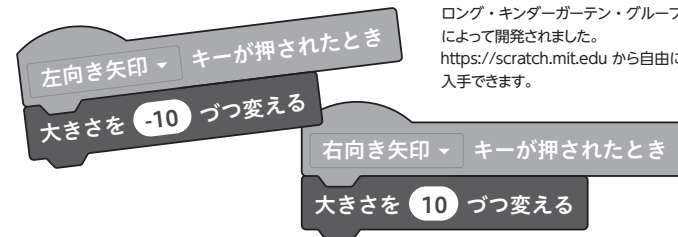
2 ロータリーエンコーダを、キータッチの「ROTATION」にジャンパーワイヤで接続します



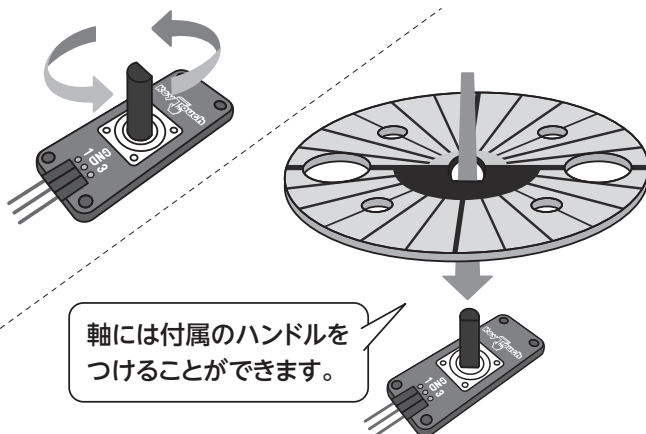
配線の向きにご注意ください。誤作動の原因になります。

3 Scratchなどのプログラミングソフトで、左右キー(2台目の場合は上下キー)で動かせるプログラムを作ります

※ScratchはMIT Media Labのライフロング・キンダーガーデン・グループによって開発されました。
<https://scratch.mit.edu> から自由に入手できます。

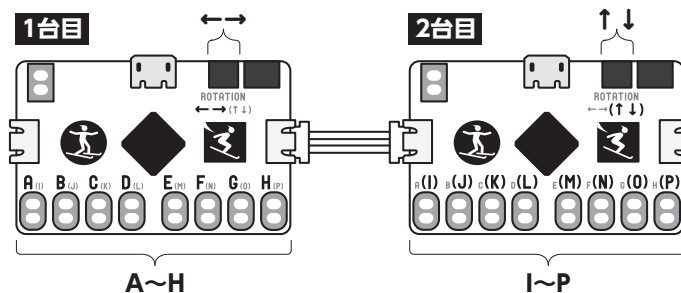


4 ロータリーエンコーダの軸(黒い棒)を回すとプログラムが動く!



軸には付属のハンドルをつけることができます。

豆知識 キータッチとロータリーエンコーダは2台まで連結できます。連結後は1台目と2台目で使えるキーが異なります。キータッチに慣れてきたら挑戦しよう!



もっとキータッチを深くお知りになりたい方は、以下のキータッチウェブサイトをご覧ください。

<http://keytouch.org>

製造・販売元

株式会社ケイエスワイ

長野県長野市大字北尾張部710-1 KSYビル TEL.026-219-5155
raspberrypi-shop@ksyic.com <https://raspberrypi.ksyic.com>



★この製品は長野県の産学が協力して作った、Made in Nagano製品です。